

関係機関の合同による平成29年7月九州北部豪雨災害箇所の出水期前一斉点検の実施について

1. 概要

(1) 目的

平成29年7月九州北部豪雨等により被災した箇所について、令和元年の出水期を前に、災害復旧事業者と地域代表者が連携を強化して、道路・河川・砂防治山等について、着眼点を絞って点検し、二次災害防止に努めることを目的としている。

(2) 日時

令和元年5月28日（火）

9時15分 出発式

9時30分 出発

10時00分～15時00分 現地点検

16時00分 一斉点検報告会

(3) 点検箇所（計32箇所）

A班（杷木、松末）

B班（高木、志波、久喜宮）

C班（三奈木、朝倉、蜷城）

(4) 出席者（計80名）

朝倉警察署、甘木・朝倉消防本部、陸上自衛隊小郡駐屯地  
被災地域8コミュニティ代表者

【災害復旧事業関係機関】

国土交通省 九州地方整備局 九州北部豪雨復興出張所

林野庁 九州森林管理局

福岡県 朝倉農林事務所

福岡県 朝倉県土整備事務所

朝倉市 災害復旧事業担当課

## 2. 一斉点検の着眼点

### (1) 道路の着眼点

- ・指定避難所と集落までの主要ルートに支障はないか
- ・避難経路が確保されているか

### (2) 河川の着眼点

- ・特に応急復旧の手直しを行う箇所はないか
- ・土砂止め工（仮設）の機能は確保されているか
- ・堤防決壊、越水箇所の応急復旧は適切に実施されているか
- ・出水期に対応が可能な請負業者は配置されているか

### (3) 砂防・治山・ため池の着眼点

- ・砂防ダム、急傾斜対策、溪間工、山腹工、地すべり対策、ため池浚渫は進捗しているか
- ・緊急性の高い箇所でありながら、諸事情で工事に着手できていない箇所はないか
- ・その他、出水期前対策として特に工事を予定している箇所はないか
- ・特に応急復旧の手直しを行う箇所はないか

### (4) その他の着眼点（各コミュニティからの要望箇所）

- ・各コミュニティ 1 箇所とし、複数箇所要望された場合今回とは別に点検を行う

### 3. 一斉点検結果

#### (1) 道路

県道「甘木吉井線」の黒川沿いについては、現在精力的に工事が進められ、昨年度より補強がされている状況だが、復旧完了には今しばらく時間が必要であり、出水期の増水時には、通行不可能となり、避難路として使えなくなる可能性もある。

市道「白木1号線」は、白木谷川、由丸川上流の仮堆積工の設置により、土砂の埋塞が緩和されるが、ガードレールの破損している箇所があり、トラロープ等での安全対策が必要と思われる。



(県道：甘木吉井線)



(市道：白木1号線)

#### (2) 河川

河川は、桂川や黒川、普通河川等の原形復旧箇所において護岸工事の進捗が確認されたが、農地の区画整理事業と連動した赤谷川等の改修部分に準備工事等を実施している段階で、復旧河道等の整備はこれからである。

これまで、応急復旧として二次災害防止のために設置されたトンパックや仮護岸である「ふくろ詰め玉石」等はしっかりと機能していることを確認した。



(桂川)



(黒川)

昨年7月の豪雨でも機能が確認された赤谷川の仮設土砂止工等では、堆積土砂は撤去してあり、良好な管理を確認した。また、白木谷川の仮設堆積工が完成に近いところまで出来上がっており、安全性が高まっていることを確認した。



(赤谷川)



(白木谷川)

最も土砂流出の多い乙石川では、根固めブロックによる工事实施のための仮設河道の整備が進められているところであり、上流部の土砂流出抑制対策も確認できた。



(乙石川)



(乙石川)

### (3) 砂防・治山等

急傾斜対策、砂防堰堤等、砂防工事、溪間工、山腹工の治山工事、地すべり対策、ため池浚渫は着実に進捗しており、昨年出水期時点より、不安定土砂対策が進んでいることが確認された。



(平覆地区：治山)



(山の神ため池：須川)

#### (4) その他

また、寺内ダムの治水容量内に堆積していた土砂の撤去及び佐田川八重津地点の堤防補強工事は完成していることを確認した。



(寺内ダム)



(佐田川)

#### (5) 総括

関係機関が一体となって復旧事業にあたっており、その状況が確認できたところではあるが、整備は道半ばの状況であり、決して安全が確保されているという状況ではない。梅雨入りも近いと思われるが、今年も大雨の際は、市民自らが災害に対する心構えを高めていただくとともに、躊躇なく避難勧告等の発令を行うことで住民の安全を確保したいと考える。